

令和3年調査結果の概要

● 出生数は減少

出生数は37,540人で前年より1,426人減少し、人口千対の率は7.4（前年7.7）であった。

合計特殊出生率は1.37で、前年の1.41を0.04下回った。

● 死亡数は増加

死亡数は56,410人で、前年より3,137人増加し、死亡率（人口千対）は11.2（前年10.5）であった。

死因順位の1位は悪性新生物、2位は心疾患、3位は老衰、4位は脳血管疾患であった。

死亡数に占める割合は、悪性新生物28.1%、心疾患12.3%、老衰7.5%で、以下脳血管疾患6.6%、肺炎5.4%と続いている。

● 自然増減数は増加

自然増減数（出生数から死亡数を減じた数）は-18,870人で、前年の-14,307人より4,563人増加し、自然増減率は-3.7と、前年に続きマイナスとなった。

● 死産数は減少

死産数は799胎で、前年の820胎より21胎減少し、死産率[出産（出生＋死産）千対]は20.8で、前年の20.6を0.2上回った。

● 婚姻件数は減少

婚姻件数は22,009件で、前年の22,745件より736件減少し、婚姻率（人口千対）は4.4で、前年の4.5を0.1下回った。

● 離婚件数は減少

離婚件数は8,564件で、前年の8,955件より391件減少し、離婚率は1.70で、前年の1.77を0.07下回った。